

## 審議会 公募

内容が100%知らされていない  
自分に関わることだと思わせる  
開催日時の検討

## 説明会

拠点から情報発信

インターネット等で  
常に流しておく  
LIVEで議会中継

学校の空き教室の  
活用 学生の声も  
聞ける

## アンケート

拠点、市民協働担当課の場所  
(市民が入りやすいところ)

情報公開で興味をもってもらう

## パブリック コメント

ファシリテーターの  
能力の向上、意識  
一般市民も

職員の育成、研修

回数(期間を長くする) → 多くの人から意見を吸い上げる

## ワークショップ

ファシリテーターの能力 やり方を知らない地区へ伝える

資料は単年度より  
も経年の推移で示  
す → よりリア  
リティがある

## 団体ヒアリング

団体の長だけでなく、実務担当者を

## 地区担当者 の活用

地域でやりたいこ  
とは、自分たちで  
やってもらう  
→ 予算配分

## 広聴

トークサロン、目安箱

# 発表

グループ3 (市議会議員+市職員)

- 小学校の空き教室の有効活用
- 情報公開 ← 素案の段階から  
(アリバイづくり)

どのように

- 働いている人の意見  
例) 持ち回り会議  
ネット会議

具体的な方法

- 地区担当
- インターネット
- 公共施設でホームページ  
などを流す。
- 新庁舎のロビー等で

双方向

市民側は？

直接

区の役員に聞きに行く

中学・高校への(働きかけ)

市民自身への動き

<自治>市民の情報発信